

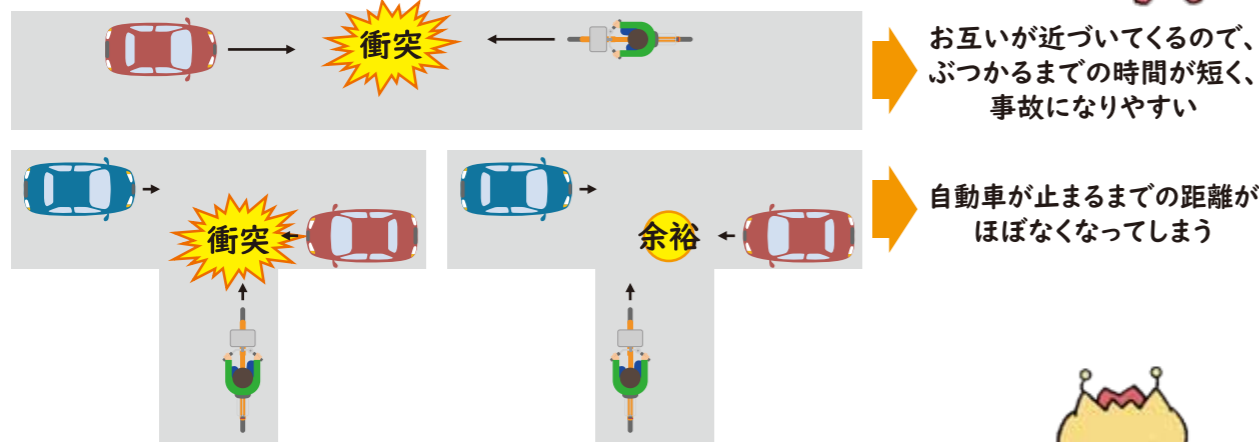
すとっぴーの交通安全～自転車のルール～



自転車は軽車両といって車の仲間！
だから車と同じ、左側通行をしないとイケないよ！



もし右側通行をしたらどんな風に危険なんだろう？



左側通行はとても大切！しっかり守りましょう！！

イベント開催のお知らせ

松阪にある三重県立みえこどもの城で キッズのための交通安全フェスタを開催します！

ストッピーのキーホルダーや子ども免許証が作成できるほか交通安全アドバイザーのお姉さん・三重高校ダンス部の方と一緒に学べる交通安全ミニ教室も行います♪
当日はパトカーの展示(10:30～12:00)もありますので、ぜひお越しください！

- 【場 所】 三重県立みえこどもの城(松阪市立野町1291)
- 【日 時】 令和6年9月21日(土)
第一部 10:30～12:00 体験コーナー(子ども免許証作成等)
第二部 13:30～14:00 交通安全アドバイザー&三重高校ダンス部(交通安全ミニ教室)
お楽しみコーナー 14:00～ みえこどもの城キッズスタッフによる「交通安全〇×クイズ」
- 【参加費用】 無 料

※詳しくはホームページをご覧ください

【QRコード】はこちら



盛夏号の答え…すとっぴーが持っていたものは傘でした！みつけれられたかな？



(一財)全日本交通安全協会作成による交通ルールの遵守・マナーの向上等のためのロゴマークです。



(一財)三重県交通安全協会

交通安全みえ

2024 / 仲秋号
No.238

発行所 (一財)三重県交通安全協会 三重県交通安全活動推進センター(三重県公安委員会指定)
〒514-0819 津市高茶屋4丁目48番8号 三重中央自動車学校3F TEL 059-253-7744 URL <http://www.mie-ankyo.com/>



ペダルの踏み間違いを防ぐにはどうしたらいいの？

ペダルの踏み間違いはなぜ起こるのでしょうか？

AT 車の場合、右側にアクセルペダル・左側にブレーキペダルと並んで配置されています。
操作をするときは、右足だけで交互にペダルを踏み換えながら操作するのが一般的です。
同じ動作で操作するペダルが並んでいるため、踏み間違える可能性は年齢を問わず、どなたでもあり得ます。



◆慌て・パニック



車を運転しているとき危険を認知し、回避行動をとる中で慌ててしまったり、パニックに陥ることで運転操作を誤り、踏み間違いが起こると考えられます。
特に、運転に慣れていない若年層などでは危険を認知したときに慌てたり、パニックになりやすい傾向にあります。

◆加 齢

加齢による運動能力の低下も一因と考えられます。
「視力の低下」や「注意力・集中力の低下」、「情報処理の遅れや誤り」、「体が思うように動かない(動作の遅れや不正確さ)」等といったことが運転操作のミスへ影響していると考えられます。



- ☆アクセルペダルからブレーキペダルへ確実に踏み換える習慣をつけましょう。
- ☆前進・バックの際は特に、ペダルの位置やシフトレバーのポジションを落ちついて確認し、十分に注意して操作することが大切です。

秋の全国交通安全運動

令和6年9月21日(土)～9月30日(月)

重点

- 反射材用品等の着用推進や安全な横断方法の実践等による歩行者の交通事故防止
- 夕暮れ時以降の早めのライト点灯やハイビームの活用促進と飲酒運転等の根絶
- 自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底



交通安全協会の活動は、会員の皆様からのご支援・ご協力により支えられています。

紫外線の影響は夏だけではなく一年中！目への影響も…

みなさん車に乗る際にきちんと紫外線・日焼け対策をしていますか？ちょっと買い物に行くだけで油断していると後悔することになるかもしれません。

紫外線の量は、季節や天候などにより変動しますが、一般的には太陽が高い位置に上がるほど紫外線は強くなります。

紫外線は夏だけと思われがちですが、秋以降も油断は大敵です！

特に運転中、気を付けてほしいのが目への影響です！

実は紫外線を目から吸収すると、脳から疲労物質(活性酸素)が大量に分泌され、神経細胞が酸化ストレスを受けることで脳疲労を起こします。

脳がストレスを受けることで身体に疲労を感じるのです。



◆疲労が運転に与える影響

- 集中力や注意力が薄れ、「漫然運転」に陥り、危険の発見が遅れがちになる
 - 運転操作が緩慢になったり、適正なハンドルやブレーキ操作ができなくなる など…
- いずれも大きな事故に繋がる可能性があります。サングラス等を活用し、紫外線対策をすることによって、少しでも疲労を軽減し交通安全に努めてください♪

あなたの持っているサングラスの可視光線透過率は何%？

- ⚠️ **注意** 昼間の運転時 可視光線透過率8%以下のレンズの使用禁止
- 夜間・薄暮の運転時 可視光線透過率75%以下のレンズの使用禁止



出典：日本産業規格 (JIS)

高速道路等で多く発生する事故の特徴

① 車両同士の事故



車間距離は十分にとっていますか？スピードは出しすぎていませんか？進路変更の3秒前に合図を出し、十分確認していますか？

ゆとりをもって周囲に注意し、走行してください。

② 動物や落下物との衝突事故



名阪国道で衝突する動物の中で最も多いのは鹿です！次いでイノシシです。

動物の突然の飛び出しや落下物などに備え、法定速度を守りましょう！

③ 車両単独の事故



クッションドラムは、衝突事故が起こりやすい高速道路からの出口や分岐点などに設置されています。

出口や分岐点などでの急な車線変更等は避け、脇見や居眠り運転にも注意しましょう！

高速道路は一般道路と比べてスピードが出ているため、ちょっとした不注意やルール違反が大きな事故につながる可能性があります。

車間距離をとる、決められた速度を守る以外にも、適度な休息を取ることや、目的地までのルートを事前に確認しておくこと、時間に余裕を持つことも、安全運転につながります。

第55回 交通安全子ども自転車三重県大会



令和6年6月8日(土)、各地区の代表小学校の中から、学科テストにより選抜された上位6チームの選手は、それぞれの意気込みを胸に、津市芸濃総合文化センター内アリーナに集結しました。

安全走行・技能走行テストが行われ、特に技能走行テストのジグザグ走行の競技ではピンを1本も倒すまいと奮闘する選手たちに会場から声援が送られました。

放課後などを利用して練習を重ねた各代表校の選手の皆さん、そして、懸命に指導・応援いただきました関係者の方々に心より感謝を申し上げます。三重県大会の結果(団体成績)は次のとおりです。

- 優勝 四日市市立内部東小学校
- 第2位 津市立一志東小学校
- 第3位 桑名市立左良小学校



いざ、全国大会へ！

令和6年8月7日(水)、三重県大会を制した内部東小学校の選手たちは、東京ビッグサイトで開催された「第56回交通安全子ども自転車全国大会」に臨み、42都道府県中33位でした。

大会結果

- 優勝 埼玉県チーム
- 第2位 静岡県チーム
- 第3位 福岡県チーム



三重県交通安全協会からのお知らせ

「優良運転者表彰」を希望される皆様へ

交通安全協会に加入してみえる方で、長期安全運転に努めておられる方は一定の要件の下、希望者からの申請により「優良運転者表彰」(30年・40年・50年)を受けていただくことができます。

希望される、または詳しくお知りになりたい方は、交通安全協会まで連絡をお願いします。

※ご自身が表彰対象者であることの確認は下表のとおり【免許証】の取得年で確認できます。

	二・小・原、その他(取得年月日)
30年	S64.1.1~H6.12.31
40年	S54.1.1~S59.12.31
50年	S49.12.31以前の取得年月日



←ここで確認できます。

※申請には一定期間の無事故・無違反を証明する書類(有料)も必要となります。

※「優良運転者表彰」に関しては、対象会員個々への案内は行われず、希望者からの自己申告制となります。案内がございませんのでご注意ください。

◆お問い合わせ (一財) 三重県交通安全協会 ◆
TEL: 059-253-7744 【平日8:30~17:00】(土、日、祝日を除く)